



MASAHIKO FUJITA

藤田昌彦

バルーンニスト / 日本 / 59 歳

YUDAI FUJITA

藤田雄大

バルーンニスト / 日本 / 28 歳

偉大な父と親子鷹で  
世界の空に挑むトップバルーンニスト

幼い頃より、『世界のフジタ』と呼ばれた父、藤田雅彦の姿を見ていた雄大は、世界の舞台での活躍を夢見る。18歳でパイロットライセンスを取得すると、20歳にして初挑戦した日本選手権でいきなり2位という好成績を残し、2年に一度開催される世界選手権へ参戦するチャンスを得る。自身初の世界選手権である2007年オーストラリアで開催された熱気球世界選手権で7位に入賞、帰国後の日本選手権では、30歳～50歳代のベテランパイロット達が活躍する競技会の中、21歳の最年少記録で日本一に輝く。その後も数々の国内外の

競技会で優勝し、2012年にはアメリカで開催された世界選手権で日本人選手初の3位入賞、そして遂に、2014年ブラジルで開催された世界選手権で念願の優勝を果たす。現在(2015年)は、世界チャンピオン、世界ランキング1位、日本ランキング1位の座にあり、名実ともに世界一のバルーンニストとなった。親子二代に渡り、日本の熱気球競技界をリードし“世界一”の称号を手にしたトップバルーンニストに敬意を表して。

ふじた・まさひこ。1956年3月23日生まれ。まだ熱気球のライセンス制度もなかった大学時代に熱気球に出会う。以後、世界一を目指し、日本の第一人者として世界各国の大会に挑戦。ジャパンホンダグランプリで多数の優勝経験を経て、2001年、World Air Games(空のオリンピック)で日本人初の金メダルを獲得し、念願の世界大会優勝を成し遂げた。また、2011年には、史上初の複数機での熱気球キリマンジャロ越えに挑戦し成功するなど、熱気球冒険のアジア人先駆者。

ふじた・ゆうだい。1987年5月7日生まれ。やすやバルーンチーム所属の熱気球パイロット。父、雅彦の影響で16歳から熱気球パイロットのトレーニングを始め、18歳でパイロットライセンスを取得。偉大な父と共に国内外の熱気球大会に参戦を続けている。現在は、世界チャンピオンであり、世界ランキング1位、日本ランキング1位と、名実ともに“世界一”の称号を手にした若きバルーンニスト。

